

沼田西の自然を取りもどすために

私達の住む沼田西町は、天然記念物のエヒメアヤメやゲンジボタルなどが生息する自然豊かな町です。毎日たくさんの自然に囲まれて過ごしています。

ところが、昨年の豪雨災害によって沼田西町も被災し、道路や家屋の浸水や崩壊など、今までの町の姿とは大きく変わってしまいました。沼田西の宝、エヒメアヤメの自生地に行くための道もまた、がけ崩れによって通れなくなってしまうました。それでも町の人達は、エヒメアヤメ自生南限地帯へ行くまでの道の土砂を取り除くなどの活動を行ってきました。

そうした努力もあり、今年の四月には、無事、エヒメアヤメがきれいな花を咲かせてくれました。毎年見ているエヒメアヤメも、今年はなんだか特別きれいに見えました。

しかし、沼田西の自然はまだ完全にもどったわけではありません。沼田西町の自慢の一つ、ゲンジボタルがとてもなくなくなってしまうたのです。原因は、豪雨によって水の中に土砂が流れ込み、あまりきれいでない水になってしまったことだと考えられます。今まではたくさんのホタルが飛んでいたのに、今年は減っているように思いました。

たしかに町は徐々に復興はしています。しかし、まだ沼田西の自然は完全には取りもどせていません。少しでも早く取りもどすためにも、私はエヒメアヤメ下草刈りやホタルの食糧になるカワニナの放流活動に参加し、自分にできることをしようと思います。今まで当たり前だと思っ

て見過ごしてきた沼田西の自然を、もう一度復活させる手助けができればと考えています。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します

— 連載第39回 —

「伝統」を守り続ける

小泉小学校では、守り続けている「伝統」がたくさんあります。今回は、その中から二つ紹介します。

一つ目は、「三点セットのあいさつ」です。三点セットのあいさつとは、「相手の目を見て」「立ち止まって」「大きな声で」の三つを意識してあいさつをすることです。このようなあいさつをすると、された方もした方も、心が持ちよくなります。この三点セットのあいさつを、小泉の「宝」として全校で取り組んでいます。

次に、二つ目の「小泉太鼓」について紹介します。

小泉小学校には、先ばい方から受けついできた「小泉太鼓」があります。その「小泉太鼓」を、今年は私たちが引き継ぐ番になりました。

六月から本格的に練習を始めています。手にはたくさんのまめがで、苦しいこともあるけれど、これまで続いてきた伝統を次の世代につないでいくという私たちの役目を果たすため、がんばろうと思っています。

十月には、学習発表会で演奏をひろうします。発表を見においで下さるお客様に喜んでいただけるような演奏をしたいです。

「三点セットのあいさつ」と「小泉太鼓」は、これからも引き継いでほしい伝統だと、私は思います。私は、この「小泉の伝統」をこれからも大切にしていきたいです。

